

香川県リサイクル製品認定申請書

令和〇〇年〇月〇〇日

香川県知事 池田豊人 殿

住所(所在地) 高松市〇〇町4-1-10

氏名(名称) (株)〇〇〇工業

代表者氏名 代表取締役 香川 太郎

連絡先

所属 事業管理部総務課

担当者氏名 環境 美子

電話番号 087-△△△-〇〇〇〇

香川県環境配慮モデル普及促進要綱第3条第3項の規定により、次のとおりリサイクル製品の認定を申請します。

項目	内容
1 品目名	再生材料を利用したブロック
2 製品名	〇〇ブロック
3 販売価格	4,000円/㎡~
4 年間生産(販売)予定量	令和〇〇年度見込 8,000㎡
5 製造加工場	所在地 丸亀市〇〇町1234-5
	名称 (株)〇〇〇工業 丸亀工場
6 販売場所	県内全域(各営業所)

7	製品のサイズ・重量等	標準品 300×180×150 mm 1. 2 kg	
8	製品の原材料等となる循環資源の状況	名称	都市ごみ焼却灰（溶融スラグ）
		発生場所	〇〇〇〇クリーンセンター（香川県〇〇市）
		使用割合	〇〇%（重量比）
		その他参考	副原料□□を〇〇%、添加剤□□を〇〇%使用
9	製品の主な仕様	標準色〇〇色 日本建築学会規格 JASS7 M101 と同等	
10	生産販売するに当たって必要な法令	有（ ） ・ <input type="checkbox"/> 無	
11	J I S 番号	<input type="checkbox"/> 有（ J I S 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 ） ・ 無	
12	製品の品質・安全性への配慮	エコマーク商品の認定済み 認定番号 第〇〇〇号 令和〇年〇月〇日付	
13	製造加工に当たっての環境保全上の配慮・効果等	都市ごみを溶融スラグ化したものを使い、さらに粒度調整のための加工を行う。また製造段階で排出された加工くずについても再利用するなど廃棄物を出さない製造加工システムを構築している。	
14	その他参考事項	製品開発に当たっては香川県〇〇補助事業を活用した。	

【添付資料】

- ① 当該製品（現物及び製品説明書等）
- ② 当該製品の製造加工フロー
- ③ 香川県リサイクル製品認定基準に適合していることを証する書類
- ④ 会社案内・パンフレット等
- ⑤ 県外発生 of 循環資源を使用している場合は、「香川県における県外産業廃棄物の取扱いに関する条例」に基づく協議等を経たものであることを証明する書類
- ⑥ その他知事が必要と認めた資料

香川県環境配慮モデル事業所認定申請書

令和〇〇年〇月〇〇日

香川県知事 池田 豊人 殿

住所（所在地） 高松市〇〇町4-1-10

氏名（名称） (株) 〇〇〇工業

代表者氏名 代表取締役 香川 太郎

連絡先

所属 事業管理部総務課

担当者氏名 環境 美子

電話番号 087-△△△-〇〇〇〇

香川県環境配慮モデル普及促進要綱第3条第3項の規定により、次のとおり香川県環境配慮モデル事業所の認定を申請します。

項目	内容
1 事業所の名称	(株) 〇〇工業 丸亀工場
2 所在地	丸亀市〇〇町1234-5
3 代表者名	工場長 香川 次郎
4 業務内容	各種プラスチック製品、化学製品等の製造
5 従業員数	310人

6 主な取組みの内容	<p>産業廃棄物(〇〇)の□□処理によるリサイクル技術の開発(装置の構造、処理フロー図は別紙のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでリサイクルの用途が限られ、焼却や埋立処分されていた〇〇を、令和X年、当社で開発した△△△装置で□□処理することにより、建築材料や家庭用品等の素材としての活用が可能となった。 ◇◇に利用されている技術を、他に先駆けて応用、開発し、実用化に至ったもので、リサイクル製品は天然原料を使用した製品と品質面、価格面共に同等のものである。 この処理技術では、異種廃棄物の一部混入があっても安定した処理が可能で、処理工程において廃棄物の発生がなく、処理コストの低減化が図られたことで採算ベースにのせることができた。 また、騒音、振動、粉じんの環境保全対策にも力を入れており、事業所周辺の地域社会とも良好な関係を保っている。
7 主な取組みが該当すると思われる条項	香川県環境配慮モデル普及促進要綱第5条第2項第4号
8 その他の取組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和〇〇年に、ISO14001を取得した。 事業所周辺の美化活動を、全従業員がボランティアで行っている。
9 取組みの効果	<ul style="list-style-type: none"> これまで廃棄物として処分していたものが、再資源化できることになり、資源の有効利用及び埋立処分量の削減を図ることができた。
10 今後の課題、構想等	<ul style="list-style-type: none"> 現在は〇〇に限って処理を行っているが、これを△△まで処理対象物を広げるとともに、更なる技術開発により資源効率を一層高めていく。
11 その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容については、令和〇〇年に「△△賞」を受賞(予定)

※認定を受けようとする事業所の内容について記入してください。

※「6 主な取組みの内容」の欄に記入する際には、取組みの先駆性、アピール性、ユニークさ、熱心さ、技術力の高さ、模範性など、いかに同業他社との差別化が図られているかが分かるように記入してください。

- 【添付書類】
- ①事業所の位置図
 - ②取組みの内容や効果を説明するための参考資料